

科目名	疾病治療論 I (病理病態論・自己免疫機能障害)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	15時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	看護の対象である患者は、病気および病的状態にある場合が多く、看護を行う際には患者の病態を十分に理解しておく必要がある。そこで、疾病を理解するために、疾病の原因とそれに対して人の体の中でどのようなことが起こっているのかを学ぶ。また、看護実践に生かすために免疫機能障害時の病態・症状・診断・治療について学ぶ。						
到達 目標	1. 疾病の原因、発生のしくみ、経過、転帰といった一連の過程を理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1~5	疾病の成り立ちと病理学	病理学とは、臨床医学における病理学、疾患の原因				講義	外部講師
	先天異常	先天異常、細胞・組織の傷害と適応・修復					
	代謝障害	脂質代謝、アミノ酸・タンパク質代謝障害、糖代謝、その他の代謝障害					
	腫瘍	良性腫瘍と悪性腫瘍、がん腫と肉腫、がんの進行度分類、がんの広がり方、がんの原因、日本人のがんの特徴					
6	炎症	炎症の五徴候、急性炎症と慢性炎症、炎症の種類、免疫の異常（自己免疫疾患・アレルギー・免疫不全）、全身性エリテマトーデス（SLE）				講義	外部講師
7	体液循環の異常	充血とうっ血、浮腫、血栓と塞栓、虚血、梗塞、出血、ショック、高血圧、循環ルートの異常				講義	外部講師
8	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学3 疾病のなりたち 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							